

学籍番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

○2つの会話例を見て、どこでどのような意味交渉が起こっているか、考えてみましょう。

**【場面 A】 理想の結婚相手について話し合う場面での学習者間のやりとり**

- ① ナディア : ブライアンさんは、どんな人と結婚したいですか。
- ② ブライアン : うーん、優しいと、作るがとてもいい人が結婚したいです。
- ③ ナディア : はいはい、いいですね。優しい、料理を作ります、いいね。
- ④ ブライアン : ナディアさんは？
- ⑤ ナディア : あ、あの、優しくてスポーツが上手でイケメンと結婚したいです。
- ⑥ ブライアン : え、スポーツがじょ、上手、あと何。あの、何言いましたか。
- ⑦ ナディア : イケメン。
- ⑧ ブライアン : イケメンは何。
- ⑨ ナディア : イケメンは、えーっ、ハンサムでクールな。
- ⑩ ブライアン : ああ、分かった、分かった。私はイケメンです (笑)

**【場面 B】 理想の結婚相手について話す場面での教師と学習者のやりとり**

- ① 教師 : リーさんは、どんな人と結婚したいですか。
- ② リー : まず、背が高くと、サッカーが好きです。
- ③ 教師 : 背が高くて、サッカーが好きな人がいいですか。
- ④ リー : はい。そして、おか、おか、おかん高いじゃない。だいじょぶです。
- ⑤ 教師 : おかん。え、なんですか。
- ⑥ リー : お、おねか、おねか？お、えー。
- ⑦ 教師 : おかね？
- ⑧ リー : そう、お金、高いじゃない、大丈夫。
- ⑨ 教師 : ああ、お金持ちじゃなくても大丈夫ですね。
- ⑩ リー : お金持ち、rich man、じゃない。はいはい、そうです。大丈夫です。

学籍番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

- 出身地が異なる人とペアを組み、方言が通じず、意味交渉行っている会話を作成してみましょう。